

第1回「市民ふれあいトーク」～倉敷地区の個性と魅力を伸ばすには～

要 約

日 時 平成20年8月27日（水） 午後6時～7時30分
場 所 暮らし健康福祉プラザ 201研修室
出席者 （市）市長 （事務局）総合政策局長 公聴広報課長ほか
（市民）参加者40名
傍聴者16名

＝ 市長挨拶 ＝

これまで、このような場では市からの説明が多かったと思うのですが、市民ふれあいトークでは、市民の皆さまが日頃思っらっしゃること、もうちょっとこうしたらよくなるのではないかとご意見など色々伺いたいと思っています。

今回のテーマは、「倉敷地区の個性と魅力を伸ばすには」ということで、私は倉敷市の個性と魅力をどんどん外に高めて発信していこうと思っています。そのなかで、みなさんが、どういうふうに見ていらっしゃるのかということ伺っていきたくと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

本日は、お申込みのときに、皆さまが書いてくださった関心事のなかで、ご意見が多かった「倉敷駅周辺の活性化」「観光と文化」「環境」に関することを中心に進めさせていただきますが、まず、倉敷駅周辺のことについて、一番の課題というのは、チボリ公園のことではないかと思えます。チボリの会社は清算し、解散をするということになりました。市としては、県がやってこられて、赤字の会社になったものを市が引き受けて市民の負担になってはいけないと思うことから私の意見を申し述べました。これからクラブウさんが開発をするにあたり、市と協議をすることになりますが、その中で、なるべく良いまちづくりをしていきたいと思っていますので、今日、皆様からも、色々なご意見をいただければと思いますので、よろしくお願いします。

＝ 意見交換 ＝

《観光》

参加者 ○倉敷駅前の商店街がさびれている。活性化のために、東京中野区の高円寺の商店街で若い人が集まり「素人の乱」というリサイクルショップなどで商店街を活性化させたという例がある。そこと連携してはどうか。
○ホテル日航倉敷の渋谷和之マネージャーが、ウィンドミルというロングカクテル部門で優勝したが、観光に結びつけることはできないか。

市 長 観光について、倉敷の文化に関することも基本ですが、今、個性化の時代になってきているので、個性のある人、魅力を持った人が倉敷にいるということを発信できたらいいと思います。

- 参加者 ○私たちは、倉敷の踊り振興会で倉敷全体を盛り上げている。その中で、観光 PR のために、観光キャラバン隊をつくろうと白壁のまちに合うような民族衣装を着て、月に一度や二度歩いてみようと考えている。7月に市長が東京にキャンペーンに行かれましたが、そういうことと連携してまち興しができるかと思う。官と民が一緒にならないと、まち興しはできない。
- 岡山出身の工業デザイナーである水戸岡鋭治さんが、和歌山電鉄の廃線のようなところを、おもちゃ電車をはじめ色々なことを行い活性化した。違った観点から、色々なことを手がけた人の知恵を、全国から借りて、それを基にして市民の団体をつくりやっていってはどうか。

市長 先日、東京の銀座で 1000 名の方に倉敷の桃とかマスカットとか竹水の化粧品などを配り PR してきました。そのとき、倉敷に観光に来られたことがある方は全体の 5% くらいのような感じを受けました。もう少し PR の仕方を工夫し、観光に来てもらいたい対象をいくつかに分けることが必要かと思えます。

また、外部の方の知恵を借りることは必要だと思います。倉敷はいいところが多い、全国的に、世界的に活躍している人の観点で外から見てもらうと、また、違った伸ばせるものが出てくるのではないかと思います。

- 参加者 ○修学旅行生を倉敷に呼んだらどうか。最近、修学旅行は外国に行ってしまう。それを引っ張ってきて欲しい。
- 倉敷の観光ルートを作ってはどうか。美観地区を見て、それから倉敷の物産を作っているところ、例えば、花ござとか児島のジーンズを作っているところなどを回る。倉敷の街だけでなく、倉敷全体をみてもらって、それが産業発展につながるような秘策があればと思う。

市長 修学旅行はこの辺では圧倒的に京都が多く年間 100 万人も行かれています。倉敷市には宿泊者で 2 万人弱位しか来られていません。市でも産業観光というものを始めていますが、今、お話を頂いたような、例えば、地元産業と組み合わせた観光バスルートや普通にお寺を見るだけではなく、勉強になるような修学旅行の特色を出していけば、今よりも多くの方が来てくれるのではないかと思います。

参加者 ○チボリガードは、お金で雇われているのではなく、音楽が好きなお子達が集まってやっている。私は、その養成機関を社会教育機関だと捉えてボランティア活動をさせていただいている。チボリ公園の閉園とともにチボリガードも沈没してしまう。そういうところにスポットを当て、市はしっかり支援をしていただきたい。それもひとつの文化、教育であり観光に繋がる倉敷市の個性だと思う。社会教育機関がそういう規範として育つようなものを全国に先駆けて、ぜひ作っていただきたい。

○倉敷には、星野仙一さん、丹下健三さん、幸田晋さん、将棋の大山名人など、世界的に有名な人や大原美術館、美観地区、王子ヶ岳、鷺羽山、水島港、良寛荘など世界的に有名なものが多い。それらにより観光ルートを作り、各拠点から倉敷の色彩を出したどこにでも止められるような小さい車を出したらどうか。また、あまり乗車されていない路線バスを、一般の方と観光に来られた方と合わせて利用できるような方法を考えてはどうか。

市 長 倉敷には将棋の大山名人記念館がありますが、先日、日本将棋連盟の米長邦雄先生が来られたときに、将棋人口は多いため、そのような観点での観光を行なってはどうか、自分たちも協力すると言ってくれました。(大山名人記念館は)今は飾っているという感じなので、こちらから発信できるような観光ができればいいと思います。

参加者 ○観光客や地元の人に見ていただける循環型の(地域)情報システムを、アンケートや民間の声も採っていただきながら行政の方々と一緒に作っていきたい。まちづくりセンターも観光客の方やいろいろな方にご案内ができるような機能を持ってもいいと思う。

市 長 まちづくりセンターには観光機能がないので、そのようなものを付け加えて回遊して歩いていただけるようなものを検討してみたらいいと思います。来ていただいてお客さんからアドバイス、フィードバックをもらうというのは大変重要なことだと思います。

参加者 ○倉敷の表玄関の雑草や街路樹の剪定の手入れが出来ていない。県道は県の方担だという回答が返ってくるが、倉敷市民のために、観光客のために、また来ていただくためにどうすればいいかということを考えていただきたい。

○倉敷市には公式のサッカー場がないため、笠岡市にお世話になっている。

ぜひ倉敷地区に造っていただきたい。

市長 昔と比べて違うのは、市のお金が無くなってきていることだと思います。いろいろなご要望をいただく中で、どういう風にお金を分配するかを考えなければいけないのですが、ハードのものでは、まず倉敷駅周辺の部分が一番ではないかと思います。それにより、他のところへも波及効果がでてくるのではないかと思います。

《チボリ公園》

- 参加者 ○壊すためにお金を使ってほしくない。みんなの自慢の場所で、残るように市民の声を受けて是非道をつけていただきたい。
- 食堂街、名店街、展望台や最先端の技術の展示場などを備えたチボリタワーを造ってはどうか。
 - デンマークにあるチボリ公園は、市民の憩いの広場として提供されており商業化には向いていない公園と聞いている。もともとチボリの持っている文化というものが倉敷へ植えつけられるものなら、(倉敷も)皆さんが楽に散歩して憩える場所として残せば、維持費もさほどかからないのではないか。
 - 近くに住んでいても美観地区にはほとんどいくことはないけれど、チボリ公園には子ども会の遠足などで何回か行くことがあり、そういう場所がなくなるのはさびしい。丹波篠山に「チルドレンズミュージアム」という、自然のことを実際に学んだり、田んぼ作りなどが体験できる、アミューズメント的な学びの場がある。倉敷には学べる文化がたくさんあるので大原美術館などと連携し、そういった活用をしてはどうか。
 - 倉敷の中心市街地は中央病院とその駐車場が巨大化していて都市機能が少し不完全になっていると思う。医療の機能を一部移転し、チボリが医療や福祉の機能を持ったコンパクトな街になってのよいのでは。
 - 年寄りが年金ですむことができるケア施設と、幼稚園や小学校などがいっしょにあり、年寄りと子どもがふれあえる場所になればいいと思う。
 - 岡山の西川のように緑を生かした商業都市のようなものができ、買い物も出来るし、たたずんで雑談ができ憩えるようなまちもいいのでは。
 - 音楽が楽しめたり、学生が絵を描いたりできる野外劇場のようなものが出来ればありがたい。
 - 池を埋めてしまっただけで地域の花が好きな人たちに自由に植えてもらったら。
 - 倉敷には大きなスペースのあるホールがないのでアンデルセンホールだけは残してほしい。

市長　　チボリ公園に市民の憩いの場所になるようなところとか、子どもさん、文化、福祉のようなところが残っていけばいいと思っていますが、クラブハウスが開発されるため、何かしらの商業面がないと成り立たないと思います。用水、アンデルセンホールも、今後、県から市とクラブハウスにどういう話が来るかわからないですが、その時に皆さんの意見も聞いていきたいと思っています。

《市街地活性化》

- 参加者　○まちづくりセンター、ウイズアップくらしき、文化交流会館など、市民が集う場所の稼働率が低い。商店街の人が自分磨きをする場所とか、いろいろな会議などで、活用していただきたい。
- 倉敷では景観計画が進んでいると聞きますが、景観というのは非常に大切ではないかと思う。倉敷は美観地区だけではなくはず。ハードの部分では今、建築基準法で無秩序にいろいろな物が建っている。自分の家であっても外から見れば公のものだという認識の下、自分たちが住む街の姿を、市民でこんな風にするというルール作りをする場をいろいろ作っていただきたい。
- 倉敷の古い町並みをいかし、そこでたたずみお茶や話ができる、やわらかい気持ちが出るようなまちにするために、みんなが立ち上がって考えようという組織を作ることが一番。
- 都市計画図はあるのに、家の立替申請をすればすぐに建ってしまう。交通の便利な街にしたらお金がかからずいい街になって活性化すると思う。
- 商店街の方も個人主義、自分の利益ばかりを表面に出さず考えてもらいたい。
- チボリと美観地区の結び目は消さないでほしい。長期計画で絶対に高架をしてほしい。
- 市民が参加して官民協働で花壇作りや、裏通りの草取りなどをおこなって、リピーターがやってくるような美しい倉敷の街にできないか。
- 街角を花で飾りきれいにしてはどうか。

《環境》

- 参加者　○これからは何かしていく上で地球温暖化対策は欠かせなくなる。美観地区とか駅近くに自転車、人力の交通手段などの市民と行政協働のエコタウン計画を。
- 岡山県条例にアイドリング禁止というのがあるが、私は駐停車時にアイドリングストップを呼び掛けている。
- 今日、子どもさんとお母さんがごみを拾っているのを見かけたが、環境について、小さい子どものときからの教育が大事だと思う。

- 自転車の通行の仕方や駐輪場などが全国的にも問題になっている。商店街でもたびたび、車や自転車の通行に観光客などがヒヤットしているのを見かける。まちづくりミーティングなどを頻繁に行って、それらの画期的な倉敷のルール、スタイルを作りこれでエコ発信できれば倉敷力につながると思うが。
- 倉敷はプラスチックごみを回収する予定があるか。他市からやってきて遅れていると思ったのだが。

市 長 地球温暖化対策は、自分のところだけじゃなく全地球的にやっていかなければならないですが、やはり取り組みは身近なところから、ごみの分別からやっていかないといけない、ごみのPRなども必要になってくると思います。アイドリング禁止、自転車推進に関すること、子どもさんのうちからの教育など重要になってくると思います。

《その他》

参加者 ○市民が納めた税金は、市民の声により、その使い道を決めるような制度を設けてはどうか

市 長 今、ふるさと納税を準備している。自分が倉敷市にふるさと納税をすると、5000円を除いた部分について、その使い道を選ぶことができる。これは、倉敷の方でも利用できます。

- 参加者 ○市の改善システムについて、他人の懐に手を突っ込んだ改善提案ができるようにしなければならない。
- 観光にはお金をかけてはいけない。どこにもない変わった芸が評判になりお客さんが集まるのではないか。
- たくさんの観光客に来ていただけるためにも、監視カメラ等配置し世界一安全な街をPRすればよいのでは。

市 長 全部に監視カメラをとというわけにはいかないと思いますが、安全な街に住む、来てもらえるというのは大切なことだと思います。

参加者 ○ここへ集まった皆様のご意見箱のようなものや、アンケート用紙など準備してもらいたい。また、手話通訳なども。

市 長 手話通訳のことなど、障害のある方、子どもさんに優しいまちということ

から今後検討したい。

＝ 終わりにあたって ＝

皆さんからいただいたアイデアやご意見を、今後市政を進めていくうえでいろいろな観点で参考にさせていただきたいと思います。たくさんのおいご意見をいただいて感謝申し上げます。ありがとうございました。